



涙と共に種を蒔く人は喜びの歌と共に刈り入れる。(詩編126編5節)
Those who sow with tears will reap with songs of joy. (Psalm 126:5)



学校創立 記念講演会

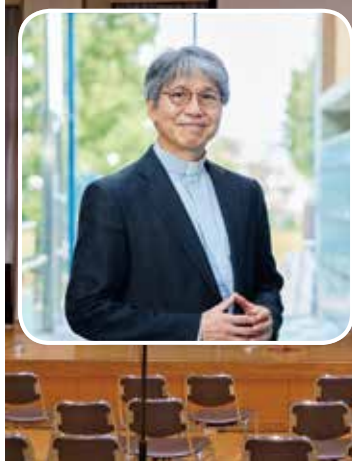
神の祝福の言葉を受け取る

ルーテル学院大学学長 石居基夫先生

九州学院では1月19日(1910年同日設立)を学院の創立記念日として定め、毎年この時期に創立記念講演会を行っています。

本年は1月18日(木)、ルーテル学院大学学長の石居基夫先生より中高生・教職員に向けて講演をたまりました(オンライン中継)。

石居先生はルーテルの教育の源流が九州学院にあるという歴史を紹介され、続いて「キリスト教的人間理解」について聖書の言葉を交えながら説明されました。人間は、共に助け合う存在として生きる、「社会文化を創造して自然を守り、神の創造に寄与してすべての人と共に生きる社会を実現する」、「過去の出来



事から未来に繋いでいくための今を生きる」、「何が大切なことかを考えて自己を律する」生き方を求められていることを、石居先生は強調されました。

石居先生は講演のまとめで「ミツシヨンスクールである九州学院で学ぶ皆さんは、神の祝福の言葉を受け取り、何が大切か考えて神の思いを知ってください。そして、新しい社会・未来を拓くために皆さん自身の言葉を紡いでいくことを大事にしてください」と優しく語りかけました。

未来に向けて言葉を紡ぐことの大切さを学べた、創立114年目を迎える九州学院の記念講演会として時宜に合った内容の石居先生のお話に、各教室の聴衆一同は真剣な表情で傾聴していました。

全国優勝祝賀会を開催

2月22日(木)、熊本ホテルキャッスルにおいて九州学院高等学校・中学校全国優勝祝賀会を開催しました。過去3年度は校内での表彰式のみであったことから、祝賀会の開催は4年ぶりとなりました。

表彰式では、過去1年間に全国大会優勝の栄冠に輝いた生徒の偉業を称えました。今回は高校剣道部、高校水泳部、中学校剣道部、中学校陸上競技障害者スポーツ(個人出場)、中学校アイスホッケー(女子ユース世界大会銀メダル・特別表彰)の各選手が表彰されました。出席者一同からは、全国優勝の偉業を称える大きな拍手が送られ、日本一の喜びを共に分かち合いました。

高校団体の部優勝

●剣道部
令和5年度玉電旗剣道大会
男子団体

●令和5年度全国高等学校総合体育大会
剣道競技男子団体

●石田 健真(3年)

●石橋 健太郎(3年)

●佐藤 利輝(3年)

●志礼 海龍(3年)

●森 鳳介(2年)

●山元 隆太(2年)

●大平 翔己(2年)

●仲光 陸遥(3年)

●原 かのん(3年)

中学校団体の部優勝

●剣道部
第57回全国道場少年剣道大会
男子団体

●石橋 智紀(3年)

●亀井 響紀(3年)

●田村 悠善(3年)

●石橋 智紀(3年)

●第53回全国中学校剣道大会男子個人

●石橋 智紀(3年)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

●特別全国障害者スポーツ大会陸上競技女子39歳以下・身体障害(下肢麻痺・座位バランスあり)

新約聖書の第1頁

アブラハムの子ダビデの子、イエス・キリストの系図。



—マタイによる福音書1章1節—
九州学院チャプレン 日笠山 吉之

新約聖書は『マタイによる福音書』から始まります。その冒頭には、イエス・キリストがイスラエルの父祖アブラハムに遡る救い主であることが明記され、以下に具体的な系図が示されます。人名ばかりが続くこの最初のページは、正直あまり面白いものではなく、聖書を初めて手にした人なら続きを読むかどうかためらうでしょう。しかし、読み飛ばしてしまいたいこの系図にも意味があるのです。なぜなら、そこにはイエス・キリストに至る神の救いの歴史を担った信仰者たちの名前が記されているからです。彼らの中には信仰者の模範とたたえられた人もいれば業績を残した王もいましたが、共通している点はみな等しく罪人だったということです。にもかかわらず、神は彼ら罪人と同じ系譜の中に、キリストを送られました。キリストこそ私たち全人類の罪を担い、贖ってくださるお方だからです。

新年早々、能登半島を襲った地震とその救援のために駆け付けようとした航空機事故のニュースが飛び込んできました。ロシアによるウクライナ侵攻は今なお止まず、ガザ地区へのイスラエルの攻撃もとどまるところがありません。際限のない人間の罪深さに日々愕然とするばかりですが、だからこそ神はこの世界にキリストを送ってくださった！その恵みに感謝しつつ、神の恵みに応える生き方を今年も模索していきたいと思えます。

今年度冬季の全国大会では本校の選手が6競技に出場しました。団体競技では、バスケットボール部が12月23日(土)から東京体育館で開催されたウィンターカップに8年連続出場(16回目)。また、陸上競技部は12月24日(日)京都市で開催された全国高校駅伝に2年ぶりに出場(42回目)。さらに、ラグビーフットボール部は12月27日(水)から東大阪市花園ラグビー場で開催された全国高校大会に7年ぶりに出場(4回目)。応援の制限が緩和されたことから、各会場には大勢の生徒・保護者・卒業生が詰めかけ、大きな声援を送っていました。

冬の全国大会に6競技で出場！

～皆さまのご声援に感謝申し上げます～

今年度冬季の全国大会では本校の選手が6競技に出場しました。団体競技では、バスケットボール部が12月23日(土)から東京体育館で開催されたウィンターカップに8年連続出場(16回目)。また、陸上競技部は12月24日(日)京都市で開催された全国高校駅伝に2年ぶりに出場(42回目)。さらに、ラグビーフットボール部は12月27日(水)から東大阪市花園ラグビー場で開催された全国高校大会に7年ぶりに出場(4回目)。応援の制限が緩和されたことから、各会場には大勢の生徒・保護者・卒業生が詰めかけ、大きな声援を送っていました。

個人競技では、12月20日(水)24日(日)に四日市市総合体育館で開催された第2回全日本女子ジュニアボクシング選手権大会でフェザー級に中川杏選手(2年)が、ライト級に山口結奈選手(1年)が出場しました。また、12月23日(土)に東京武道館で開催された第42回全国高等学校弓道選抜大会男子個人戦に齊木俊将選手(2年)が出場しました。なお、益田晴人選手(2年)が1月下旬に出場予定でした第32回全国高等学校文化連盟将棋新人大会は、能登半島地震の影響で中止となりました。皆様のご声援とご支援に、厚く御礼申し上げます。

院長室だより

院長 小副川 幸孝



2024年になりました。今年度は、年頭から能登半島地震や航空機事故、北九州市での火災などが続き、この新しい一年がなんとなく思いやられる年明けとなりました。戦争も続いています。20世紀は「不安の世紀」でしたが、21世紀の今は、「分断と分裂」以上に「対立の時代」に入った気がしています。対立は、私たちの日常生活の中にも起こります。なぜ、人は対立し、互いに争い合う愚かさの中に陥ってしまうのでしょうか？

要因は様々に考えられますが、根本的には、生物としての人間の強烈な自己防衛本能と、知的生物としての「自分の正義」と考えていることの非共同性にあると言えるかもしれません。それが、資本主義が行き詰まりを見せ始めた頃から互いの競争の激化へとつながり、今日に至っていると言えるでしょう。それは人間としての醜さを露呈することへもつながります。

私たちの学院も、この「対立する競争原理」の中に置かれた時代もありました。しかし今、改めて学院の原点である聖書の教えに立ち返ってみれば、「神は人間ひとりひとりにそれぞれの個性を与えられたが、それは競争したり比べたりするためではなく、その個性をそれぞれが活かして共に助け合うため」ということに気づきます。時代や状況が厳しくなればなるほど原点に立ち返ることは必要です。その教えの原点から「どうすれば、みんなが笑顔になれるか」、そのことを今年も考えつつ過ごしたいと思えます。

学校長挨拶

中高校長 室永 芳久



2023年度も残すところ三学期を残すのみとなりました。

新型コロナウイルス感染対策に追われた三年間がようやく終わり、学校の教育活動も通常を取り戻しつつあった現在ですが、2024年元旦に、能登半島震災という痛ましい災害が発生しました。亡くなられた方々に哀悼の意を示し、被災された皆様

に心よりお見舞い申し上げます。学校では、二学期は、様々な行事がコロナ以前の状態に戻って行うことができました。生徒の皆さんの活き活きとした顔がみられ、私も一スタッフとして、とても嬉しく感じております。また、学習面でも一番長い学期でもあり、それぞれの生徒さんごとに充実して取り組めたのではないのでしょうか。

三学期には、高校一年生の研修旅行、学年末考査、高校三年生の大学等の一般受験、そして卒業式などの大きな行事があります。また、学校にとっても高校の専願・奨学入試、一般入試が行われる大事な時期でもあります。各行事等が滞りなく実施できることを心から望んでおります。

締めくくりと次への準備期間として、生徒の皆さんにとっても、我々スタッフ一同にとっても大事な三学期となります。十分な準備と万全を期して臨んでいく所存です。皆様におかれましても、今後とも、九州学院の教育活動にご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

芸術鑑賞「KMA弦楽合奏団」

10月30日(月)熊本県立劇場コンサートホールにおいて、2023年度「芸術鑑賞」を実施しました。今回はKMA(熊本ミュージック



アーティスト)弦楽合奏団の皆さまをお招きし、ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバスの4種類の弦楽器にピアノや琴を交えた素敵な演奏を披露していただきました。

この日の演奏曲目はクラシック音楽に留まらず、中高生にも聴き馴染みのある現代曲も多く含まれていたことから、生徒もリラックスした雰囲気の中で演奏に聴き入っていました。プログラムの後半には生徒参加型の企画も

高校入試説明会を開催

中学3年生が多数参加



11月11日(土)、3号館ホールおよび1号館教室において、2024年度九州学院高等学校入試説明会を開催し、熊本県内外から中学3年生が参加しました。また、今回の説明会では生徒1人につき保護者1人の参加を認めたことから、計約600人の出席者がありました(共に事前申込制)。

説明会は放送部員による司会で進行しました。日笠山チャペレンによる聖書朗読・祈祷、室永校長挨拶、山本高生校長挨拶など、続いて、松本進路指導部長が本校卒業生の進路状況等を紹介しました。その後、本校入試で試験を実施する5教科(国語・英語・数学・理科・社会)の代表教員および入試実務担当者が2024年度入試についての説明を行い、最後に小副川院長の挨拶で閉会となりました。

「九学祭」大盛況!

【一般公開】

11月3日(祝)、九州学院中高構内において、九学祭第2日「一般公開」が催され、爽やかな秋晴れのもと、各会場とも多くの来場者で終始大盛況でした。

今回は4年ぶりに3号館ホールでのステージ発表が短時間ながらも復活し、立ち見客も含めて300人を越える観衆がありました。

展示や販売、発表を行った各主催団体と個人は、この日に向けて準備を重ねてきた成果をあげることで、充実感や達成感が表れた表情がありました。各方面での協力に深く感謝申し上げます。

11月2日(木)、九州学院総合体育館において九学祭第1日「校内発表」を開催しました。昨年度の校内発表は3号館ホールから各教室へのライブ中継および事前に収録した動画を視聴するカタチで実施しましたが、今回は4年ぶりに総合体育館に中高全学年の生徒と教職員が集結する環境

【校内発表】

下で実施できました。開会宣言に続いて、すばらしいパフォーマンスが各発表者によって披露されると、観衆からは感動と感謝の気持ちが届きました。拍手が送られました。

前高校生生徒会長・副会長コンビによるサブライズステージや、中高生徒会役員と実行委員が準備した学年別クラス対抗イントロクイズも行われ、一同は楽しいひとときを共有することができました。

☆ステージ発表☆



高校書道部、高校チアダンス部、高校2年アシリートクラス音楽選択者、高校吹奏楽部、ダンス(有志数組)、前高校生生徒会長・副会長特別企画☆

①点灯式(12月4日)

九州学院西門そばでクリスマスイルミネーション(育友会協賛)の点灯式が、学院関係者が多数参加して厳かに執り行われました。式では中高吹奏楽部、敬愛会(高校宗教部)など多くの生徒が準備や奉仕等にあたりました。

②礼拝等(12月21日)

感染症流行により今回も3号館ホールには各クラスの宗教委員が集い、他の生徒たちは各教室でオンラインによる参加となりました。第1部の礼拝では、日笠山吉之チャペレン

「神さまがともりにくいだるる」クリスマス行事

がクリスマスの意味を聖書から語りました。第2部の祝会では、12月15日(金)に行われたことも園(みどり)クリスマススペースイベントの映像と、高校生有志によるトーンチャイムの演奏を鑑賞しました。また、これらの学校行事とは別に、敬愛寮(男子寮)のクリスマス礼拝が、12月6日(水)に九州学院プラウン・メモリアル・チャペルで行われています。救い主イエスキリストの御降誕を祝い、その意味を学ぶ機会が、九州学院では継承されています。



○今回のクリスマス献金は計405,016円でした。感謝して報告いたします。この献金は九州学院が継続して支援していますチャイルドスポンサーシップのプログラム等に用いさせていただきます。

ミッシェンウィーク講演「クリスマスの喜びを共に味わう」

日本福音ルーテル熊本主名八代教会牧師小泉 嗣先生



12月11日(月)、九州学院3号館ホールと各教室(中継)で2023年度ミッシェンウィーク講演会を行いました。本年度の講師として日本福音ルーテル熊本・玉名八代教会牧師の小泉嗣先生をお迎えして「Joy to the World」の演題で講演をたまわりました。小泉先生は新約聖書「ルカによる福音書」...



友会元会長の潮谷愛一さんをお迎えして「みんな赤ちゃんだった」の演題で講演をたまわりました。潮谷さんはご自身の経験と研究に基づいた「赤ちゃん期」の大切さを、資料を用いて具体的に語られました。特にこの時期において安心・安全が赤ちゃんの脳内に刻まれて「愛着」が形成できたかどうか、その後の思春期に影響をおよぼすことについて熱弁されました。出席した会員「保護者」と教職員は、潮谷さんのお話に傾聴していました。

育友会活動報告(10月~1月)

①秋の講演会を開催

11月17日(金)九州学院ブラウン・メモリアル・チャペルにて、育友会秋の講演会を開催しました。講師として九州ルーテル学院大学名誉教授、九州学院育友会元会長の潮谷愛一さんをお迎えして「みんな赤ちゃんだった」の演題で講演をたまわりました。潮谷さんはご自身の経験と研究に基づいた「赤ちゃん期」の大切さを、資料を用いて具体的に語られました。特にこの時期において安心・安全が赤ちゃんの脳内に刻まれて「愛着」が形成できたかどうか、その後の思春期に影響をおよぼすことについて熱弁されました。出席した会員「保護者」と教職員は、潮谷さんのお話に傾聴していました。

②九学祭に出店参加

11月3日(祝)、九学祭の一般公開に際して、中学校(合同)・高1・高2・高3・執行部の5団体が特製グッズの販売や食パサーを実施しました。また、実行委員会企画への協賛も行わせていただきました。



③クリスマス行事支援

毎年好評を博しているクリスマスイルミネーションを本年度も提供しました。点灯期間中、優しく美しい光が学院関係者や道行く人々にクリスマスの喜びと愛や平和の大切さを伝えていました。



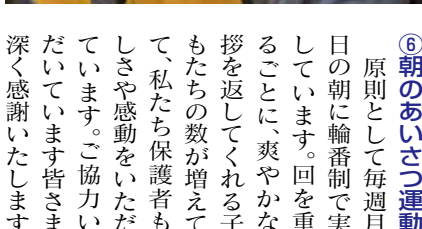
④共通テスト受験激励

12月22日(金)、大学入学共通テスト受験生の激励会を開催し、中山一会長が激励の言葉をかけて、育友会提供「合格祈念グッズ」を受験生に贈呈しました。※中学3年生全員にも別途贈呈しています。



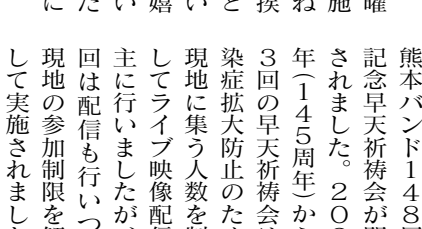
⑤高3卒業DVD贈呈

九州学院高校を卒業する高校3年生の皆さんに今回も育友会が卒業記念DVD「S76 回生の軌跡」を制作しました。高校生活3年間を映像や写真で振り返る構成となります。※贈呈は2月下旬予定



⑥朝のあいさつ運動

原則として毎週月曜日の朝に輪番制で実施しています。回を重ねるごとに、爽やかな挨拶を返してくれる子どもたちの数が増えていて、私たち保護者も嬉しさを感動をいただいています。ご協力いただいています皆さまに深く感謝いたします。



歓迎(豪州)姉妹校インマヌエルカレッジ

10月、九州学院を2つの訪問団が訪れ、交流の時をもちました。2日(月)~8日(日)、九州ルーテル学院とともに姉妹校関係にある、オーストラリアのインマヌエルカレッジからの訪問団が来熊。中高の授業やホームステイなどを通して交流の機会を多く持ちました。授業では九州学院の中学生と組や班を作って一緒に学習。英語でのコミュニケーションで親交を深めました。6日(金)には3校合同で姉妹校交流会を開催。インマヌエルカレッジの生徒が企画と進行を行い、楽しい交わりの時間を過ごしました。12日(木)、アメリカ合衆国カリフォルニア州からELCA復活ルーテル教会(以下LCR)の訪問団が九州学院を約4年半ぶりに来訪。一行は3号館ホールでの礼拝に参加して、代表のバイク牧師が両者の絆が深まるように、そして世界が平和になるように祈られました。2024年夏には、九州学院中高校生とLCRユースの相互訪問が実施される予定です。



「英語弁論古賀咲希さん(高2)が快挙!」

「難関の2大会で本選(全国大会)進出!」



9月27日(水)、上智大学より「第13回上智大学ジョン・ニッセル杯全国高校生英語弁論大会」(上智大学言語教育センター・同外国語学部英語学科主催)の一次審査結果が届け、古賀さんが237人の総応募者から本選出場有資格者に選出されました。この大会は日本国内の高校に在籍する高校生だけではなく、海外の高校に在籍する学生も出場を果たす、見事な活躍がありました。



古賀咲希さん(高2)は、国内で開催される高校生を対象とした英語弁論大会のなかでも最難関とされる2つの大会で本選(全国大会)出場を果たす、見事な活躍がありました。古賀さんが237人の総応募者から本選出場有資格者に選出されました。この大会は日本国内の高校に在籍する高校生だけではなく、海外の高校に在籍する学生も出場を果たす、見事な活躍がありました。

古賀咲希さん(高2)は、国内で開催される高校生を対象とした英語弁論大会のなかでも最難関とされる2つの大会で本選(全国大会)出場を果たす、見事な活躍がありました。



12月20日(木)、熊本県赤十字血液センターの皆さまが来校され、毎戦を制して見事優勝しました。この結果により益田さんは全国大会(於・金沢市)の出場権を獲得しました(大会は能登半島地震をうけて中止となりました)。益田さんは昨夏に鹿児島県指宿市で開催された「第59回全国高等学校将棋選手権大会」に続く全国大会出場となり、今後益々の活躍が期待されています。

「熊本バンド」148周年記念皇天祈祷会

1月30日(火)午前6時30分より、熊本市西区の花岡山山頂において熊本バンド148周年記念皇天祈祷会が開催されました。2021年(145周年)からの3回の皇天祈祷会は感染症拡大防止のために現地に来る人数を制限してライブ映像配信を主に行いましたが、今回は配信も行いつつ、現地の参加制限を解除して実施されました。

九州学院の生徒では内村美香さん(高3)が「奉教趣意書」口語訳の朗読を行いました。現地およびライブ配信視聴での参加者一同は、村上みか先生(同志社大学神学部教授・同キリスト教文化センター所長、前年度九州学院創立記念講演会講師)による「命を受け」と題した奨励に傾聴して、148年前の出来事に思いを馳せながら、それぞれの祈りを重ね合わせました。

日本のキリスト教プロテスタント教会の歴史には、内村鑑三を中心とした札幌バンド、植村正久を中心とした横浜バンドと熊本バンドの三源流があります。熊本バンドとは、同志社の宣教師が、熊本から来た青年たちを熊本のグループという意味で呼び始めたことから用いられるようになり、1871(明治4)年に設立された熊本洋

予選で4位に入り、上位6人のみに与えられる決勝大会の出場権を獲得しました。この大会は全国の高校生を対象とした由緒ある英語弁論大会で、西日本大会に出場すること自体困難といわれるほどハイレベルな大会です。両大会で本選や決勝に2年生で見事進出した古賀さんは、今後の大会その他で活躍が期待されます。皆様のご声援をお願いします。

冬恒例の「献血キャンペーン」が開催されました。九州学院高校の生徒と教職員は長年にわたって献血に協力をしてきた実績があり、今回も呼びかけに応えた高校3年生を中心に約90人が献血を行いました。現在でも全国的に輸血用血液の不足状態が継続しているといわれ、今回の献血が少しでもお役に立てることを願っています。

「熊本バンド」148周年記念皇天祈祷会

熊本バンド

熊本バンド

熊本バンド

九州学院みどり幼稚園

認定こども園九州学院みどり幼稚園園長 新垣 力

2024年は、みどり幼稚園創立百周年にあたる記念の年です。1924年(大正13年)12月、メリー・グレイ夫人宅の熊本市大江の宣教師館の一室で10名の子どもを集め、幼児教育を始められた。これが「みどり幼稚園」の設立となつていきます。グレイ宣教師夫妻の帰国に伴い、在熊のD.G.M.バツク夫妻に委ねられました。最初の園舎は、1926年、新屋敷に...

数が減少する時代もありましたが、2015年から「認定こども園」としてスタートし、園児数は100名前後で推移しています。イェス様は、幼い子どもたちや、乳飲み子までも呼び寄せて「神の国はこのような者たちのものである」と言われ、子どもたちを抱き上げ、手を置いて祝福してくださいました。(マルコによる福音書10章14節より)



11月7日(火)〜10日(金) 研修旅行を3泊4日で実施しました。今年度より沖繩から広島・関西方面へと訪問先を変更し、2年生が現地を訪れて研修の時を過ごしました。初日は広島平和記念公園・資料館を訪問しました。平和記念公園でガイドの方に慰霊碑や記念碑などの施設を案内していただきました。



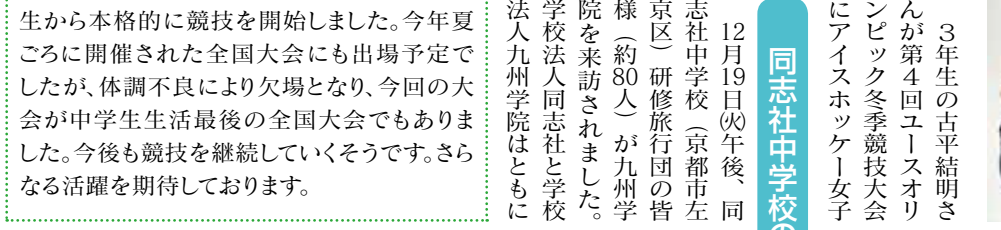
3年生の古平結明さんが第4回ユースオリピック冬季競技大会にアイスホッケー女子3年生の古平結明さんが第4回ユースオリピック冬季競技大会にアイスホッケー女子...

同志社中学校のみなさんが九中に来校されました。12月19日(火)午後、同志社中学校(京都市左京区)研修旅行団の皆様(約80人)が九州学院を来訪されました。...



2日目 京都市内で自主研修を行いました。事前に行った計画をもとに、観光名所を巡ったり、家族へお土産を買ったりと、各班楽しんでいました。

原さん 全国2冠達成! 10月28日(土)〜30日(月)に行われた2023特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の陸上競技において、本校3年生の原かのんさんが100M・200Mで全国初出場初優勝の2冠を達成しました。(記録100M:18秒99、200M:34秒07)また、11月14日(火)には熊本市を表彰訪問しました。原さんは、小学校1年生のときに車いす陸上を知り、5年生から本格的に競技を開始しました。...



9月10日(日) 熊本市中学生バドミントン大会(南東部地区) 第61回県下中学校剣道大会(新入戦) 第38回若鷲旗剣道大会 第59回熊日杯県下段別剣道選手権大会 第17回熊本神泉会旗九州選

(中学校)学友会活動成績(9月1日〜12月31日)

- 個人1年の部 1位 中司 健太(1年) 2位 小宮 尚通(1年) 3位 小宮 尚通(1年)
バドミントン部 1位 中司 健太(1年) 2位 小宮 尚通(1年) 3位 小宮 尚通(1年)
個人2年の部 1位 落合 瞳真(2年) 2位 宮里 兼心(2年) 3位 宮里 兼心(2年)
個人3年の部 1位 落合 瞳真(2年) 2位 宮里 兼心(2年) 3位 宮里 兼心(2年)

- 90kg超級 3位 北村 宙大(1年)
48kg級 3位 石橋 莉乃(1年)
52kg級 1位 藤井 優花(1年)
57kg級 1位 吉永 衣織(2年)

- 52kg級 1位 藤井 優花(1年)
57kg級 1位 吉永 衣織(2年)
特別全国障害者スポーツ大会(白波スタジアム鹿児島県立鴨池陸上競技場)
200m 1位 原 かのん(3年)
100m 1位 原 かのん(3年)

- 2年男子個人形 1位 神山 紀仁(2年)
2年男子個人組手 1位 神山 紀仁(2年)
1年男子個人組手 3位 長松 連(1年)
2年女子個人形 3位 後藤 璃乃(2年)

- 2位 井上 翔慟(1年)
5位 荒尾 奈音(1年)
第9回西日本中学生野球大会(福岡大学野球場) 2位 福本 朋胤(3年)
第21回全国中学生都道府県対抗野球大会九州沖縄ブロック予選(10月7・8日) 3位 福本 朋胤(3年)

- 400m個人メドレー 7位 福田 悠雅(2年)
200m自由形 6位 石川 史乃(2年)
400m自由形 3位 石川 史乃(2年)
熊本市秋季選手権水泳競技大会(10月14・15日) 3位 石川 史乃(2年)

- 1位 石川 史乃(2年)
36回熊本県スイミングクラブ協会水泳競技大会(12月9・10日) 1位 石川 史乃(2年)
吹奏楽部 第54回熊本県中学校器楽合奏コンクール(10月7日) 銀賞

